

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 第9回国際学術フォーラム

仏教ソーシャルワーク探求の旅、その先へ
～なぜ世界は仏教ソーシャルワークを
無視できないのか～

基調講演:

アベ・タッセ (Tassé Abye) 教授

国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)元会長

現在 国際ソーシャルワーク学校連盟、国際社会福祉協議会、国際ソーシャルワーカー連盟
を代表し グローバル・アジェンダ・プロジェクト(2020年～2030年)を主導

2025年2月15日(土)

午前10時～午後4時半

淑徳大学東京キャンパス9号館にて

- * オンライン配信あり(ZOOM)
- * 日英同時通訳付き・参加費無料

主催: 淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所

Email: asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

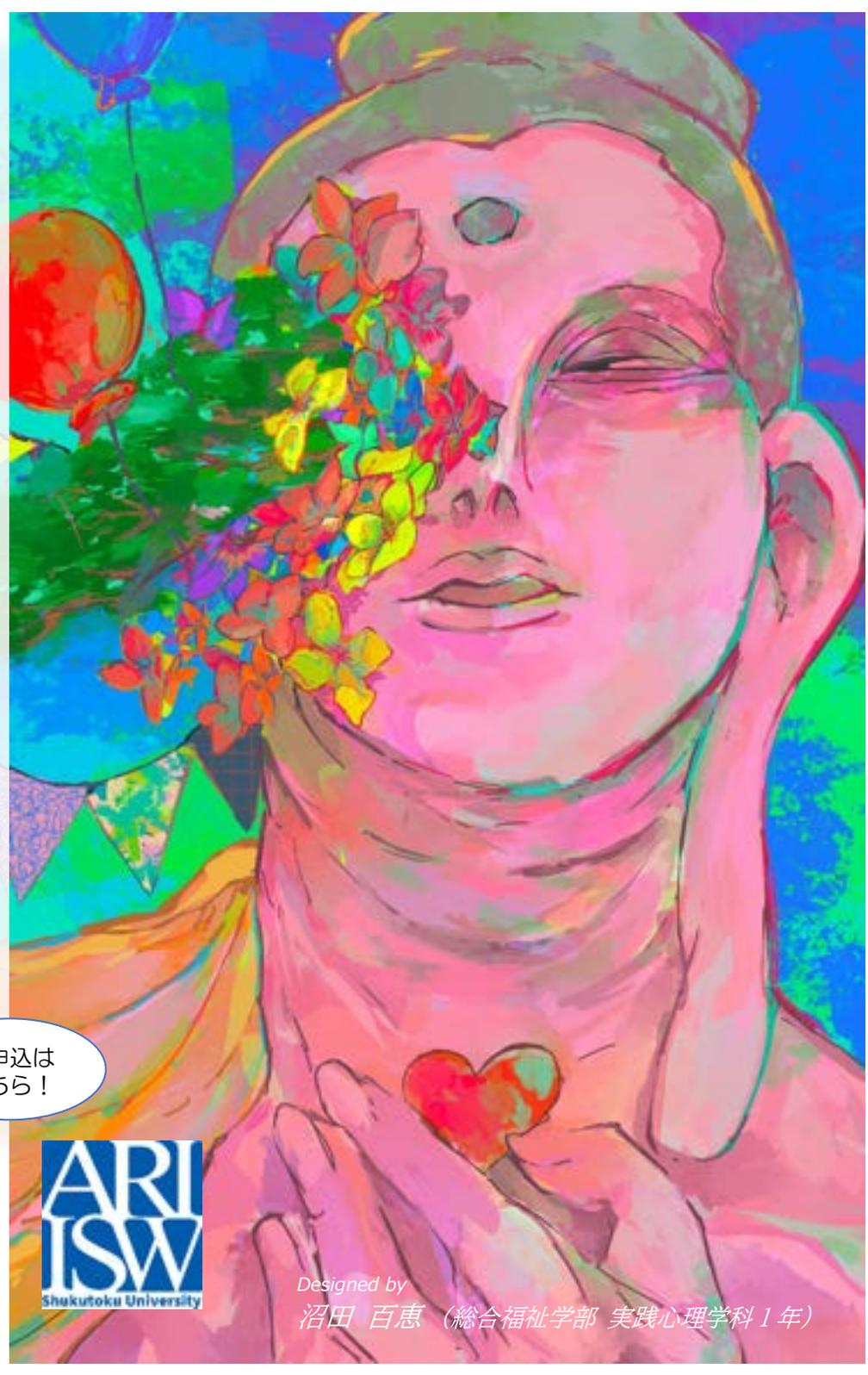


お申込は
こちら!



Designed by

沼田 百恵 (総合福祉学部 実践心理学科1年)



淑徳大学アジア仏教社会福祉学術交流センターでは、2014年の開設当初から「仏教ソーシャルワーク」研究に取り組んで来ました。

2015年の文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業の採択を受け「アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性に関する総合的研究」が開始されて以降は、仏教徒が人口の多くを占めるアジアの国々に対するフィールド調査や共同研究が精力的に行われ、その成果として、2018年より「仏教ソーシャルワークの探求」研究シリーズの刊行を開始、途中のコロナ禍を越えて、2024年3月、和文・英文とも全11巻の刊行が完了・完結しました。



本研究を通じて、アジア各地で実践されている様々な僧院、僧侶・尼僧、仏教徒が実践している活動を学び、2017年ハノイで開催された専門家会議で、「アジア仏教ソーシャルワーク」共通の定義とは何かを考えモデル化、作業定義の議論を行いました。これは1966年の設立当初から日本仏教社会福祉学会が議論してきた「仏教福祉」と「仏教社会福祉」に係る議論とも共振する、「ソーシャルワークとは何か」という根源的な問いにも大きな示唆を与えるテーマであると考えます。

来る2025年2月15日、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所は第9回国際学術フォーラム「仏教ソーシャルワーク探求の旅、その先へ ～なぜ世界は仏教ソーシャルワークを無視できないのか～」を淑徳大学東京キャンパスにて開催します。

フォーラムでは、「仏教ソーシャルワークの探求」研究シリーズの完結を踏まえ、改めて研究所が実施してきた「仏教ソーシャルワーク」研究の知見をご紹介します。

Mark your
calendar on
February
15, 2025!



また、現在、3つのグローバル組織(国際ソーシャルワーク学校連盟、国際社会福祉協議会、国際ソーシャルワーカー連盟)を代表してグローバル・アジェンダ・プロジェクト(2020年～2030年)を主導している国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)元会長アベ・タッセ先生を迎え、アジアの「仏教」、「社会福祉(ソーシャルワーク)」、そして「仏教ソーシャルワーク」を、世界はどのように捉えているのか、アフリカ諸国出身で初めてIASSWをリードしたご経験を踏まえて語っていただきます。

BSWの研究プロジェクトはこれまで何を見て、そしてまだ何を見ていないのでしょうか？なぜ世界は、このような小さな研究所が主導する始まったばかりのBSWの研究を無視できないのでしょうか？

今回のフォーラムでは、仏教ソーシャルワーク研究の方向性や課題について参加者の皆さまと議論できればと考えています。

仏教と社会福祉の実践や理論、あるいは社会福祉における多様性や国際社会福祉を研究テーマとされている方、また、「仏教ソーシャルワーク」というキーワードに関心のある方、そして何より、「社会福祉とは何か」について思い巡らせた事のある全ての皆様のご参加をお待ちしています。

淑徳大学東京キャンパスのご案内: <https://www.shukutoku.ac.jp/access/tokyo/>

参加申込はこちらから: <https://forms.gle/VJHakcp6bAdvYV8s6>

連絡先: 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所